

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	はしごクレーンでの要救助者取込時、はしごの横振れが発生し転倒危険があった事案
3. 体験した事例の中心的要素	要救助者をはしごクレーンで引揚げた後、要救助者を確保した隊員が若干引き過ぎてしまったことでロープが張り、三連はしごに転倒モーメントがかかったもの。
4. 体験した事例の原因・理由	<ul style="list-style-type: none"> ・要救助者を確保した隊員が、ロープ確保者と意思の疎通を十分に取れていなかった。 ・ロープ確保者に対し、ロープを緩めさせ、緩めた分、ロープを張らないように引き込む意識が足りなかった。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。(大丈夫だろうと思った。)
------------------	------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	令和5年9月19日 午後3時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外:消防署車庫内
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	転倒
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[救助(通常時)]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他:車庫内ではしごクレーン救助システムを作成し、要救助者の取り込みを行っていた時
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1, 2回程度体験している。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[33]歳、勤続年数[14]年、現場経験年数[14]年、階級[消防司令補] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [その他:安全管理]
○当事者B	年齢[26]歳、勤続年数[5]年、現場経験年数[4]年、階級[消防士] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [その他:はしご保持]
○当事者C	年齢[23]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[3]年、階級[消防士] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [その他:要救確保]
○その他(当事者が4人以上の場合)	○当事者D 年齢26歳、勤続3年、現場経験2年、階級:消防士、同様の活動:過去に1, 2回程、任務:ロープ確保

11. 事例発生経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	B、Cが	要救助者を引揚げてDに確保を指示	
経過2	Dが	ロープを確保	
経過3	Cが	はしごから離れ、要救助者を確保	
経過4	Cが	要救助者を取り込もうとした際、引き過ぎた	
経過5	ロープが	張り、三連はしごに横振れが発生	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？
- ヒヤリハットの場合: ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

危険事象の対応方法を知っていた 集中力、注意力があった 指揮者が適切に指示した 後方からの監視の目が行き届いていた

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

-ヒヤリハット事例時の状況-

※はしごクレーン救助時の要救助者取込時

三連はしごが横に振れている状態

・基底部が浮いて、三連はしごに横振れが発生したことに気付き、要救助者の取込を停止。はしご位置を修正した後、確保者のロープ緩めに合わせ、要救助者を取込。

はしご基底部が浮いている状態

